

# 真山仁さんに聞く 【“正しい”の疑い方】



講師 小説家 真山仁 Jin Mayama

【ハイブリッド】 丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。ご希望は事前にお伺いします。今後の状況によって【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。

## 不安社会を果敢に生き抜くべく“正しい”を疑う力を養う

コロナ禍で拍車がかかった不明確な情報、孤独感の増幅により、“正しい”ことへのこだわりが強い人や、自分の立ち位置に不安を抱く人が明らかに増えています。日本人の多くが、相手と同じ意見を持つのが“正しい”ことで、同じ意見を持たないと認められないと思い込んでおり、承認欲求を満たすために必死で空気を読もうと、血まなこで“正しい”場所を探すのです。厄介なのは、“正しい”にこだわり過ぎると、それを他人に押しつける衝動に駆られることです。そして何より、疑う力が極度に弱くなった日本人のぐらついた“正しさ”が社会に氾濫していることです。本講座では、日本社会が抱える諸問題を題材に、“正しい”を疑う力を養います。具体的には、【正確な情報を得る】【知見を積む】【ウソを見抜く】【他人の意見を受け止める】といった観点から議論を積み重ねていきたいと思ひます。

真山仁

4・15 | 土  
14:00-17:00

### ハゲタカ作家が語る幸せ論 1

お金は大抵のことを解決するが、幸せを確約するものではない。あればあるほど、さらなる欲望に向かう欲望増幅装置の側面を持つからだ。我々は何をもって、「幸せ」と感じるができるのだろうか。経済の停滞が続く日本における幸せの形について考える。

7・15 | 土  
14:00-17:00

### 脱炭素社会における エネルギーのベスト・ミックス 4

カーボンニュートラル実現のため、原子力発電所の再稼働が進んでいる。しかし、原発事故の脅威を学んだ日本だからこそ、地熱発電など既存の枠組みにとらわれない再生可能エネルギーの開発を進める必要がある。日本におけるエネルギー問題を多面的に検討する。

5・20 | 土  
14:00-17:00

### 分断された民主主義 2

民主主義とは何か。革命という民衆の共通体験なくして民主主義を手に入れた日本では、その本質的な意味を理解する人は少ない。政治家や官僚などの知識層が、国民の不安と不満を顧みることがなくなり、益々分断が深まっているにも関わらず、国民の政治への無関心が止まらない。民主主義の功罪を理解しつつ、どうすれば本来あるべき姿に戻れるか思索する。

8・26 | 土  
14:00-17:00

### “正しい”戦争と これからの安全保障 5

戦争とは“自分が正しい”を争ってはじまるものである。加えて、政治家や軍人だけで始めるのではなく、熱狂的に支持した世論(民意)があってこそ成り立つ。周辺国の軍事活動が活発化する中、日本は軍を持たずして平和を維持し続けられるのか。これからの安全保障の形を問う。

6・17 | 土  
14:00-17:00

### 「ミステリーの女王」を通して 疑う力を養う 3

情報発信者には発信意図があり、時に私たちを欺こうとする。“正しい”を疑い、正確な情報を得るためには、こうしたウソを見抜く力を磨く必要がある。巧みなウソで読み手を翻弄するアガサ・クリスティの小説を用いて“正しい”を疑う力を養う。

9・16 | 土  
14:00-17:00

### 未来への指針 6

日本の住みやすさは未来永劫続くわけではない。“正しさ”の押しつけが拡がり、民主主義の責任を果たさぬ国民が集う国の未来はない。では、どうすれば日本の未来が明るいものになるのか。想像力を持って、具体策を描く。

## 語り合い、考えを磨き上げる

冒頭講義(問題提起)を踏まえて、全員で語り合う時間を多く設けます。“正しい”に向き合うには人の意見を聞き、頭から否定するのではなく異なる意見として受け入れる広い視野と懐の深さを持つ姿勢が大切だからです。また、人の話を聞くと、「自分自身の考え」を手に入れることができます。自分の考えというのはもともとあいまいなもの。人の意見を聞き、それを自分の言葉に落とし、「その通り」「それは違うな」と繰り返し自分の内面を見つめることで、漠然としていた自分の考えに目鼻がついてくるのです。

## 講師プロフィール


### 真山 仁(まやま じん)

1962年大阪府生まれ。同志社大学法学部政治学科卒業。新聞記者、フリーライターを経て、2004年、企業買収の壮絶な舞台裏を描いた『ハゲタカ』でデビューを飾る。同シリーズはドラマ化や映像化され大反響を呼ぶ。主な小説作品に『売国』『オペレーションZ』『トリガー』『神域』『プリンス』『レインメーカー』『墜落』『“正しい”を疑え!』『タイムズ』『プレス 素晴らしきニッポンの肖像』『アディオス! ジャパン 日本はなぜ凋落したのか』(改題)。21年には初の本格的ノンフィクション作品『ロッキード』を発表し大きな話題となる。

### 主な著書

『“正しい”を疑え!』(岩波ジュニア新書)  
『タイムズ「未来の分岐点」をどう生きるか』(朝日新聞出版)  
『プレス 素晴らしきニッポンの肖像』(角川文庫)  
『ハゲタカ』(講談社文庫)  
『ロッキード』(文藝春秋)  
『タングル』(小学館)

## 開催概要

日程	2023年 4/15、5/20、6/17、7/15、8/26、9/16 (すべて土曜日)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	14:00-17:00(3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス／オンライン
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・日本に広がる同調圧力に疑問を感じている方 ・正確な情報収集と対話により、ブレない私見を持ちたい方 ・現代日本が抱える問題(政治、エネルギー、安全保障等)について多面的に考えたい方 ・新たな社会のあり方をじっくりと考えてみたい方
申込み	<a href="http://www.sekigaku-agera.net/">http://www.sekigaku-agera.net/</a> 

## 講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。ただし今後の状況により【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる皆様へのお願いをご確認の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 【ハイブリッド】



### ハイブリッド開催とは

- ・丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

### オンライン参加について

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoomを初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

### キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。発熱、咳などの症状、体調不良、また過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域に訪問歴がある場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。

### 会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会  
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合がございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。